



和田圭祐=1970年5月9日生まれ。広島大学歯学部卒。名古屋大学医学部大学院で医学博士号を取得。米国ハーバード大学大学院で08年6月、歯学博士号取得。米国歯周病専門医。現在ペンシルベニア大学歯学部でインプラント学ディレクターとして教鞭をとる傍ら、インプラントの臨床研究を行っている。

アメリカ発

最新歯科医療レポート

Vol.04 リポーター：和田圭祐

インプラント治療は顎の骨に芯を立て、その上に歯を作る治療法で、従来のブリッジや入れ歯に代わる画期的な治療法として近年、大きな注目を集めている。本稿では特に総入れ歯、又はそれに近い状態で十分に噛めず、お悩みの方にインプラントを用いた最新の治療方法をお話ししたい。

経済的、身体的負担を最小限に

ワンデイインプラント総義歯とは、歯のない顎に最少で4本のインプラントを入れるだけで12本の歯を支える治療法。少数のインプラントで済むため、低コストでしかも手術による出血や術後の不快感も最小限になる。さらに、術前

にコンピュータ上で決めた場所(写真2)に、4本のインプラントをほとんど出血なく挿入(写真3)、直後に12本の歯のブリッジをインプラントにつないでその日は治療を終了した。わずか3時間ほどで取り外し式の総入れ歯から固定式ブリッジとなり、その日の夕食から普通に食事ができたと喜んでおられた。その後、インプラントが

術後3時間で噛めるように

取り外し式の総入れ歯は顎がやせてくると安定させる事が非常に難しく、噛む力も自分の歯の5分



ワンデイインプラント総義歯

総入れ歯の人のためのインプラント治療

の1になると言われている。(写真1)は、しっかりと噛めない上、入れ歯で歯茎がこすれて痛む事に悩んでワンデイインプラント総義歯を希望された実際の症例。

ながら(写真4)、最終的に審美性と自然さのある口元を再現出来た(写真5)。ワンデイインプラント総義歯は自然な笑顔を取り戻す最新の治療として広まりつつある。

写真11



写真12



写真13



写真14



写真15



WADA DENTAL OFFICE



新市・和田歯科医院

— M&K インプラントオフィス福山 —

院長・和田 勝 アメリカ歯周病専門医・和田 圭祐

福山市新市町新市726-1

(ムシバゼロ)

Tel. 0847-52-6480

詳しくは当院のインプラント専用サイトをご覧ください <http://www.wada-implant.net/>